

# 日高クリニック 外観リフォーム竣工!

6月15日、梅雨の晴れ間の爽やかな青空の日、日高クリニックの外観リフォーム工事が無事竣工しました。

平成8年12月、日高村に、地域の皆様の健康を願って、日高クリニックを開院してから約20年。その年月の間に、外壁のさまざまな部分で色褪せや劣化が起こっていました。そのため、日高村や近隣町村にお住まいの方々に引き続き安心して医療・介護が提供できるように、外観リフォームを行う運びとなりました。

細木秀美理事長の提案のもと、日高村に今までないような外観をコンセプトとして検討した結果、濃い2色の煉瓦色をベースに、合間に濃いグレーのラインを組み入れた、斬新ながらも落ち着いた色調に決定しました。屋上の三角屋根には太陽光を乱反射させ、真夏の日差しの下でも室内温度を上昇させにくい最新の塗装技術を採用しました。また、正面にある日高クリニックの文字は遠くからでも見やすいよう白としました。

日高クリニックでは、小児科、内科、整形外科を診療しています。また、介護保険事業所の通所リハビリテーション「老人デイケア シルバークコスモス」、認知症対応型共同生活介護「グループホーム ひだかの里」、認知症対応型

通所介護「ひまわり」、居宅介護支援事業所「日高ケアセンター」を併設。さらに、日高村より委託を受けた病後児保育「ワンパクひだか」を運営しています。日高村や近隣地域にお住まい

の高齢者から小さなお子様まで、地域の皆様に寄り添った、安心の医療・介護の提供に職員一同努めています。

このたびのリフォーム工事では、近隣の皆様にご協力いただきましたことを、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。そして、



リフォーム前



リフォーム後の日高クリニック

心機一転、新しくなった日高クリニックを今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。  
（院長 松本和博／事務長 尾原 団）

時 事  
エッセー

交通事故を起こしやすい人



仁生会理事長  
細木 秀美

**私**は今年で 76 歳になったが、運転免許証の更新には認知機能検査が必要な年齢である。私は昭和 33 年からバイクに乗っているし、昭和 37 年には車の免許証を取得した。生まれて初めて乗った車は、初代のトヨタカローラで、大阪で開かれた万博に生まれたばかりの長女を連れて、家内と岡山から出掛けたこともあった。だから、もう半世紀以上も車を運転していることになる。バイクから勘定すれば、もう 60 年近く乗り続けているのだが、スピード違反、信号無視、一旦停止違反では、数年に一度はお巡りさんに迷惑をかけた。そして一度は、交差点で小学生が自転車で赤信号を無視して走って来て接触したが怪我はなかったことなど、10 年に 1 回は警察のお世話になっているが、大きな事故は起こしたことはない。今、考えてみると、神様に守られ

て、幸せだったし、幸運だったと思っている。最近、インターネットに「交通事故を起こしやすい人」が出ていて、そうだろうなあと、密かに感じたので、書いてみたい。まず 1 つ目は、バイクと高性能自転車の大好きな人だそう。2 つ目は、飲酒して夜道を歩く人。3 つ目は、ハンドルを握ると人が変わる人。4 つ目が、運転中、スマホが気になる人。5 つ目が、普段から交通ルールを守ろうという気持ちが希薄な人。この 5 種類の人は本当に気を付けなければ危ないと感じますが、皆様いかがですか。特に夏休みなど、街中などは子供が多くて、事故に要注意である。私事ですが、この年になると年のせいか、車を法定速度以上で走らそうと思わなくなったし、狭い道を走るのをできるだけ避けている。そして、できるだけ交通ルールを守るように心掛けている。ただ、お酒を飲むと、運動のためと、酔い覚ましに繁華街からよく歩いて帰る癖がある。なるべく歩道のある道路を通っているが、ダメかなあ。

仁生会

集合教育 「始まっている第3の医療…在宅医療」  
「世界が注目する日本の在宅医療」開催

7月21日に三愛病院、7月24日に細木病院において、仁生会グループ職員に対して、仁生会教育委員会による集合教育が開催されました。三愛病院で98名、細木病院で204名、計302名の職員が参加しました。講師は、堀見忠司細木病院院長が務めました。講義内容の概略を次に述べます。

医療を取り巻く4つの環境の変化、「高齢化の進展」「経済基調の変化（国家予算に対する国民医療費の高騰）」「医療技術の進歩」「国民意識の変化」により、我が国の医療のあるべき姿を踏まえた総合的な医療政策を実施する必要があります。

高齢化の進展による多死社会の出現と入院による看取りの急増、認知症患者800万人時代の到来、医療技術の進歩による高額医療機器や高額な薬剤、治療法の普及等が医療費を高騰させ、今や国民医療費は40兆円を超えて、国家予算92兆円の43%以上になっている。この医療環境の変化に対応すべく、①病床削減による在宅医療の推進、②自宅や施設での看取りの推進、③地域包括ケアシステム（「かかりつけ医」を中心とした「まちづくり」の構築、④総合診療科の再認識と推進、⑤検査漬けや薬漬け医療の是正と後発医薬品の普及、⑥消費税

率のアップの政



細木病院

## 第19回日本医療マネジメント学会 学術総会で発表

7月7日～8日、仙台国際センター（宮城県仙台市）において、第19回日本医療マネジメント学会学術総会が開催され、堀見忠司院長、宮地耕一郎事務部長、田中照夫医療技術部長、片岡典代外来副看護師長、訪問看護ステーション高知西の井上加奈子在宅看護専門看護師の5人が参加しました。

職員満足に関する内容、在宅医療に関する内容など多岐にわたるプログラム構成でした。私はその中でも、元お笑い芸人の先生が笑いによるコミュニケーションとして「笑顔」「共感」「承認」の3つの極意を伝授してくださいました。セミナーがとても勉強になりました。

口演発表では、田中

今学会のメインテーマは『地域を守るあたたかな医療』患者・職員の満足をめざしてとあり、全国各地より約4000人の医療福祉介護関係者が参加していました。学会は、クリティカルパス、医療安全、医療連携を3本の柱として、できるだけ多職種が参加できるプログラムであることを大事にし、現場からの情報発信に重点が置かれているとのことでした。その方針どおり、医療介護福祉の現場の課題や災害医療に関する内容、患者・

医療技術部長が「薬剤部門における医政局長通知（チーム医療の推進）具体化への取り組み」を、私が「職員アングレートを活用した接遇向上への取り組み」を発表しました。いずれも質の高い医療の提



細木病院

## 第37回高知糖尿病チーム医療研修会で 小児科の新井部長が教育講演

6月4日に高知市文化プラザかるぽーとにおいて、第37回高知糖尿病チーム医療研修会が開催され、医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、ヘルパーなど、糖尿病の治療や指導を高めようとする多職種が参加していました。

今回の教育講演では、当院小児科部長の新井淳一先生が「小児1型糖尿病とサマーキャンプ」と題して講演されました。サマーキャンプの様子が参加者の写真を交えて紹介されており、遊びや

バーベキューなどのプログラムを通じて、活動量や食事量などのさまざまな状況に応じたインスリン量を自分で決定できるように、医療者や先輩看護師が援助しているとのこと。1型糖尿病の患者さんとの関わりについて、医療者に任せきりで治療にならない、どんな状況であっても患者さん自身で問題解決できる力を身に付けることを目標にするべきだと言われていたのが強く印象に残りました。そのためには、指導する側が応用力を身に付ける必要があるのではないかと感じました。なお、今年（理学療法士 宮崎 和）

で行われ、多くの施設から医療スタッフが参加しますが、当院からも医師3人、看護師4人、保育士1人が参加する予定だそうです。

その他にも講演やシンポジウムが行われ、活発な質疑応答が行われていました。糖尿病足病変の治療中に足に体重をかけないで歩行訓練が行える装具の発表は、理学療法士として大変興味深い内容でした。

今回の研修会に参加して、糖尿病の指導についての理解と興味がさらに深まりました。この経験を今後の臨床に生かしていきたいと思えます。



講演中の新井淳一先生



は、愛媛県大洲市のサマーキャンプ（理学療法士 宮崎 和）

三愛病院

第22回 院内研究会開催!!



テーマ	部署/発表者
自分家で暮らすということ ～それぞれの選択した暮らし～	居宅介護支援事業所 「一宮」 介護支援専門員 清岡しの
効果的な提供体制を考える ～リハビリテーション課の取り組み～	リハビリテーション課 リハビリ助手 嶋崎一通
職員の禁煙への取り組み ～増やそう卒煙職員～	総務課・外来 事務員 桑名彩矢
お化粧でいきいき!	老人保健施設 「あうん高知」入所 准看護師 鈴木由美
在宅復帰に向けた 褥瘡治療への取り組み	愛2病棟 看護師 川上裕美
本院で経験した血清電解質異常について ～高ナトリウム血症と 高カルシウム血症～	内科 院長 深田順一

7月15日に三愛病院5階会議室において、第22回院内研究会が開催されました。今回は、医局、看護部、在宅部、医療技術部、事務部の各部門から計6題の発表があり、普段あまり関わりのない業務について知ることができ、充実した院内研究会になりました。

私は、「職員の禁煙への取り組み増やそう卒煙職員」というテーマ

で、外来と共同発表をしました。内容は、1月に全職員対象で実施した「喫煙に関するアンケート」の集計結果と、5月より禁煙の意思がある職員に対し禁煙外来の補助を開始しているため、禁煙治療について発表しました。これまで、このような場で発表をした経験がなく、不安でいっぱいでしたが、外来の協力のもと資料やパワーポイント作成をスムーズに仕上げることができました。前日のリハーサルざりざりまで読み方や見せ方の修正を行い、頑張ったかいあって「優秀賞」をいただきました。とても嬉しかったです。今回の発表を通して、発表資料の作り方や見せ方を学ぶことができ、良い経験になりました。この経験を今後に生かしていけるよう、日々努めていきたいと思えます。

(総務課 桑名彩矢)

細木病院

知らなかったは通用しない 道路交通法 安全運転講習会開催

6月23日、細木病院新館地下講堂において、高知中央自動車学校の副校長の久保能之営業部長を昨年引き続き講師にお迎えして、安全運転講習会が開催されました。今年3月の改正道路交通法で施行された運転免許制度の改正や、75歳以上の高齢ドライバーの認知機能チェック強化のほか、無免許運転などについて説明がありました。

普段はほとんど気に留めることのない道路交通法ですが、知らなかったは通用しないのが道路交通法。例えば、バイクの免許を持っていない人がバイクに乗ったとき、ど

のタイミングで無免許運転になるか。①バイクにまたがったとき、②キーを差したとき、③エンジンをかけたとき。正解は②で、乗ろうとした行為

で違反となること。また、公道ではなく私道であっても「一般交通の場」であれば道路交通法の道路と見なされ、交通違反の適用範囲となることなど、これまでなんとなくセーフと思っていたことが、実は昔からアウトであり、しかも、ネットに情報があつという間に広がる今の時代は、絶対に許してもらえない、という話に、会場の参加者は皆、緊張した面持ちで聞いていました。

当院には、通勤のほか訪問サービスや



通所サービスの業務で車やバイクを使用している職員がたくさんいます。今後も、こうした研修を積み重ねて、安全運転の意識を高め、職場の交通事故ゼロを目指していきたいと思えます。

(施設課 安全運転管理者 津野祐一)

木イ院  
細ニ病

デイケアフレンズの利用者さんが  
高知県精神保健福祉卓球大会で健闘！



6月20日に高知県民体育館において、高知県の精神科関係施設の利用者さんが出場する精神保健福祉卓球大会が開催されました。この大会は、高知県精神保健福祉協会の事業で、精神科病院関係者と精神保健福祉に関係した地域の団体と親睦を図ることを目的としています。今年には11の病院・施設等から参加があり、

大会当日は、選手全員が堂々とした姿で戦って

細木ユニティ病院のデイケアフレンズからは、9人の利用者さんが選手として出場しました。

利用者さんは大会まで練習を重ね、他の病院との練習試合も行いました。また、職員も本番の緊張感に近づけようと本気で利用者さんの相手をしました。

選手たちの表情は「悔しい。次回はさらに上を目指す」という顔をしていました。Bチームの選手からも、「勝つことができ

ました。午前の団体戦には2チームが出場し、共に大健闘でした。Aチームは2勝し、久しぶりに決勝トーナメントに進むことができました。惜しくも3位でしたが、

悔しい！次も出る」といった声が聞かれました。午後の個人戦には、男性2人、女性1人が出場しましたが、今年はいい成績を残すことができず、歯がゆい思いをしました。

来年の大会を目指して、選手たちと一緒に練習に励んでいきたいと思っています。応援に来てくださった皆さん本当にありがとうございます。（作業療法士 松木 望）

院内保育所「チャイルドルームほそぎ」  
働くお母さんお父さんをサポート

チャイルドルームほそぎは、細木病院グループで働くお母さんお父さんをサポートする保育施設です。基本的に、0歳児から6歳児までをお預かりしています。保育時間は、お母さんお父さんの勤務時間に合わせて、早出、延長保育、夜間保育にも対応し、24時間年中無休で受け入れていきます。他の保育施設に通わ

れている場合でも、土日・祝日の休みの時や夏休みなどの長期休暇の際の受け入れも可能です。隣接の小高坂双葉園であれば、夜勤などへの対応として送迎も行っています。

子どもたちは、年の違う混合保育の中で関わりあい、ふれあうことで社会性や協調性を育みます。年上の子は下の子を思いやる優しい心が育ち、年下の子を労わり手伝い、お世話するということが自然にできるようになります。年下の子もたちは、日々の生活の中で、やりたい気持ちや憧れを持ち、上の子の真似をしながら自立心が育っていきます。

年間行事は、七夕やクリスマス会、豆まきなどささやかですが、季節にちがって行事を行っています。気候の良い春や秋には、園庭で外遊びを楽しんだり、近くの公園に出かけることもあります。細木ユニティ病院の利用者さんと一緒に楽しくお芋掘りもします。



（保育士 森澤陽子）

細木病院

バリアフリーフェスティバル2017で『1位』受賞  
刺しゅうがしたい!!  
1人の女性とOTの挑戦

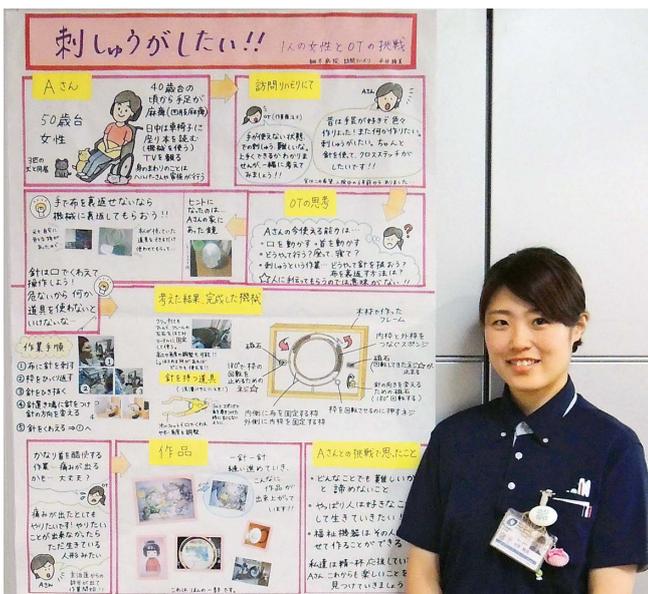
6月16日〜18日、高知市のふくし交流プラザにおいて、第16回高知ふくし機器展バリアフリーフェスティバル2017が開催されました。今回、私が訪問リハビリで紹介している利用者さんとの取り組みについてポスター発表をさせていただきましたので、ご紹介いたします。

その当時、当院に入院していたAさんとリハビリを一緒に行うことがあり、「趣味の刺しゅうをまたやりたい」という気持ちをお聞きしていました。それから6年後、訪問リハビリで再会した時、Aさんは口を使って絵手紙を描いていました。入院当時は首を動かすことが禁止されていたため、首を上手に動かして絵を描いている姿を見て驚きました。そして、入院当時から「刺しゅうがしたい」という希望は今でも変わらないことだったので、2人で話し合って、刺しゅうに挑戦することにしました。

♡人に手伝わなくてもいいのでは意味がない！身体機能を生かした道具の創作に挑戦！

利用者のAさんは50歳の女性で、40歳の時に手足が動かなくなりま

とはいえ、手を使わずに刺しゅうをするには何か道具が必要です。使える身体機能は首と口の動き。Aさんの身体機能と縫う作業の分析を行い、Aさんが以前使っていた刺しゅう枠を利用して



1年弱を要したA3サイズの大作



細かな縫い目にもご注目！

て、枠を回転させて布を裏表に返す方法を考えました。針の操作は、直接口で行うことは危険なので、洗濯バサミを工夫して間接的にくわえる方法をとりました。構想が具体的に頭に浮かんできたので、いよいよ道具の創作に取り掛かりました。が、どんな材料を使って作ればいいのかや具体的な作り方が分かりません。ホームセンターに図案を持って行って従業員の方に相談に乗ってもらったり、家族に手伝わってもらったりしながらなんとか作り上げました。

♡やっぱり人は好きなことをして生きていきたい！

実際にでき上がった道具を使ってみると、刺しゅうというの思った以上に細かな作業で、かなり首を使わなければならないことが分かり、Aさんの首への負担が懸念されました。「首が痛くなるようなら無理にやらなくてもいいですよ」と私が言うと、Aさんは「痛みが出たら痛み止めを飲んででもやります。好きなこともできずに寝ているだけなんて、生きている人形のようなものじゃないですか」と。それからAさんの刺しゅう作業の日々が始まりました。最初は2〜3針縫うと休憩をしなければならぬほど大変な作業でした。小さな作品から始め、徐々に難易度を上げてA3サイズ程の大きな作品

も作ることができるようになりました。

♡どんなことでも難しいからと諦めない！

怪我をしたり病気になるったりすると、多くの方が自分は何もできないと感じてしまいます。気持ちが弱くなり、体を動かさなくなります。今回の取り組みの中で、人は楽しみを持って生きること、諦めないことが大切だということを改めて感じました。今後も同様にだことを生かし、身体や精神に不自由のある方でも人生を楽しむことができるよう支援していきたいと思えます。(訪問リハビリ 作業療法士 平井綾美)

## 細木ユニティ病院

### 音楽療法コンサートのご案内

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。

細木ユニティ病院では、月 2 回ほど、S館 6 階で音楽療法コンサートを開催しています。

無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。

\*駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

ジャズプレイヤー 3 人によるユニット。その曲の持つメロディーとハーモニーの美しさをリスベクトしつつアドリブに、インテリジェントにでも深掘り展開していく。楽しい曲、嬉しくなる曲、懐かしい曲、どれもこのトリオならではの音世界になっていきます。

**第 385 回 ◆ 小島のり子ジャズフルート・トリオ 初秋のコンサート**

9 月 15 日 (金) 午後 2 時  
出演：小島のり子 (フルート)、天野 丘 (ギター)、澁谷盛良 (ベース)

9 月 1 日 (金) 午後 2 時  
出演：岡田 幸 (ピアノ)、大崎雅氏 (テノール)、濱口亜希 (ピアノ)

**第 384 回 ◆ オペラティックライブ 2017 「浅草オペラ百年祭」**

精神疾患により、精神科に通院する場合、その医療費は継続的に負担が

### ご存じですか!? ソーシャルワーカーからのミニ情報

### 自立支援医療とは? ~精神通院医療の自己負担軽減~

かかることが多いです。そのため、公費で通院費の自己負担額が軽減される制度があります。それが「自立支援医療」という制度です。

【医療費の自己負担額】  
精神科通院費 (診察代、お薬代、デイケア、訪問看護等) について、公的医療保険で 3 割負担が 1 割負担となります。さらに、月ごとの自己負担額に上限が設けられています。ただし、入院費に適用はありません。

【対象となる方】  
精神保健福祉法に規定する統合失調症などの精神疾患を有する方で、通院による治療を継続的に要する程度の病状にある方

【申請方法等】  
市町村の障害福祉担当窓口へ申請します。申請には主治医の診断書が必要ですが、また、1 年ごとに更新が必要です。詳しい内容等につきましては、細木ユニティ病院の医療相談室までお気軽にお問い合わせください。

☎088-802-3366  
(細木ユニティ病院 医療相談室主任 曾根宏一郎)

## あなたとあゆむ 積善会 ニュース NO.108

有限会社 積善会  
〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F  
TEL : 088-873-0146  
FAX : 088-873-0147

《売店》  
細木病院 新館地下 088-822-7211 (代)/内線 1610  
三菱病院 1 階 088-845-5291 (代)/内線 260

(株)ユーキートレーディング

武市の  
おんちゃん  
のだわりの  
米



## 米蔵直売所

	販売価格 (税込)	ポカリスエット プレゼント
3kg	1,650円	500ml × 1本
5kg	2,370円	500ml × 2本
10kg	4,630円	500ml × 5本

高知市・南国市内発送無料

## ミルキーQueen

新米ご予約の方に「日田天領水」プレゼント!!  
各売店にて受付中! (ご予約期間:平成 29年 10月未まで)

皆様の健康を願って

今月の健康目標「カバンにひとつ 熱中症対策を！」

## リハビリ訓練・ダイエットに!!



カラー4色 (イエロー・グリーン・ブルー・ピンク)  
ペダルエクササイザー PX-one 5,540円 (税込)  
お取り寄せ商品になります。ご注文は、積善会事務所または、各売店までお申し付けください。

【有】積善会がお届けするインターネットショップ!  
Zenショップが新しくなりました。

新製品も続々登場!!  
ぜひ一度ご覧ください。

ZENショップ x 検索

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/zen-shop100>



